

歐洲綴織及繪畫展覽會
綴織目錄、繪畫目錄

579
283

別書誌
合2冊

Kodak Gray Scale

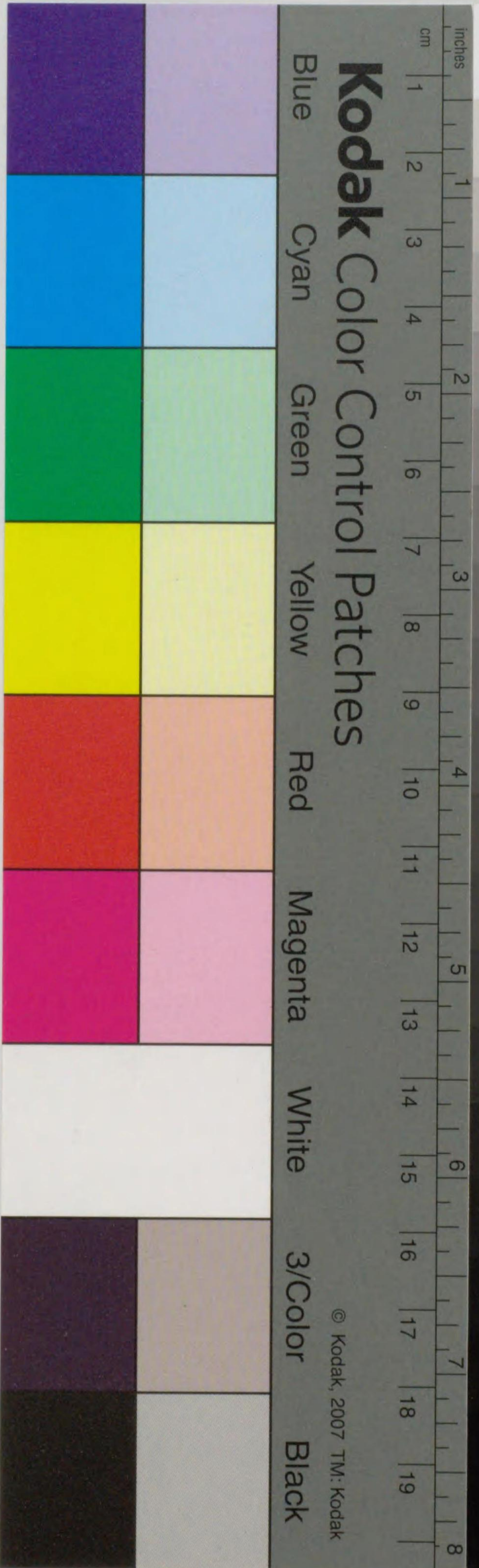
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak

579-283



1200501521455

集蒐氏方松

會覽展畫繪及織綴洲歐

錄目織綴



綴ルセクユリア

圖女婦中圖

會協術美民國

579-283



松方氏
藏集

歐洲綴織壁掛目錄

主催 國民美術協會

昭和四年四月三日ヨリ同月十九日迄
東京府美術館ニ於テ開會





總ルドソラフ

圖の走競タノラニア



(分 部) 圖の走競タマラタマ





總
シ
ラ
フ
ゴ

圖
蹟
事
王
大
コ
ダ
ン
サ
キ
レ
フ



維
九
一
リ



圖
物
人
中
園





織ルモクユリテ

祭 村





村祭圖 (分部)

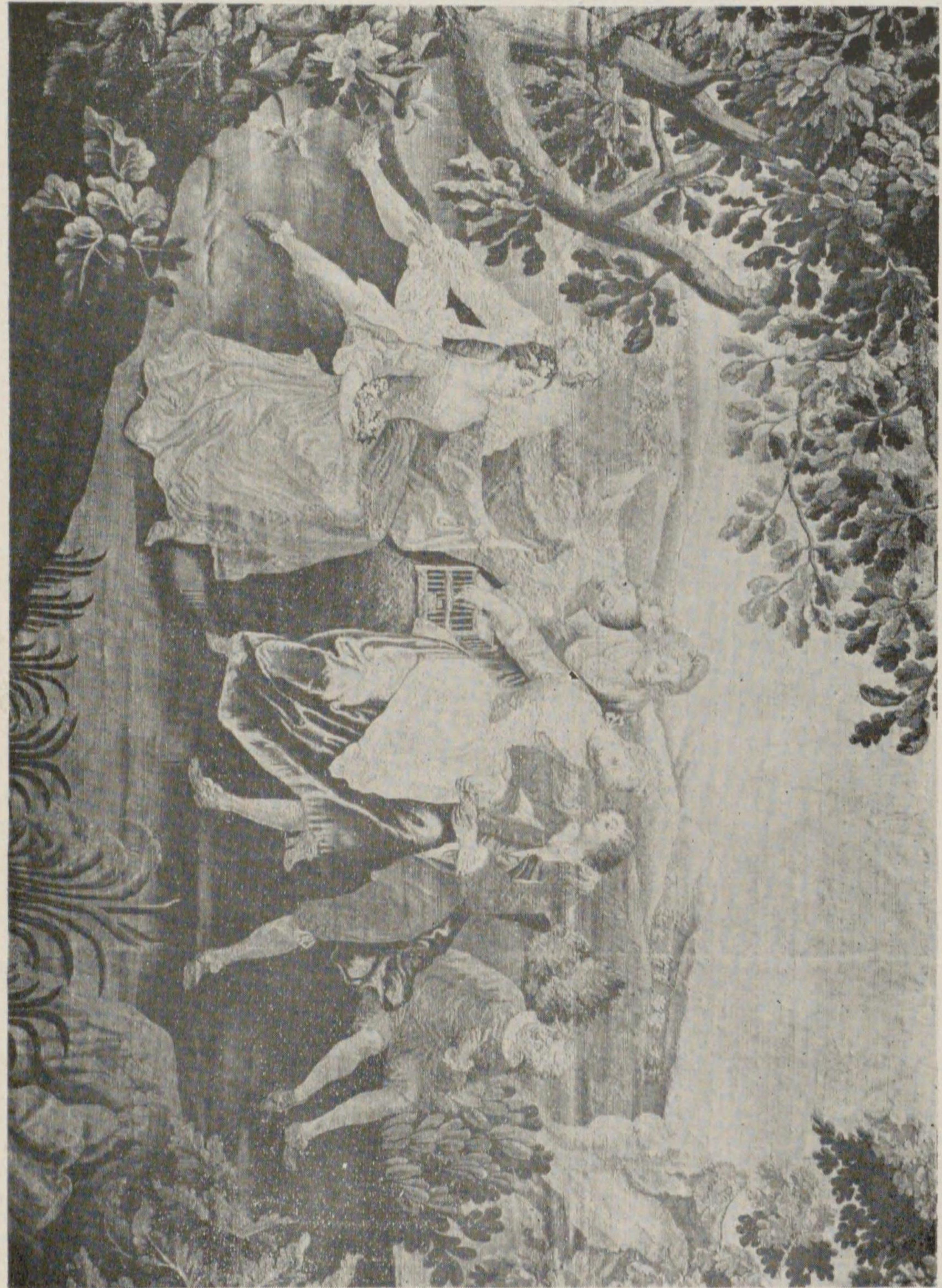




織
ソ
ラ
ナ
エ

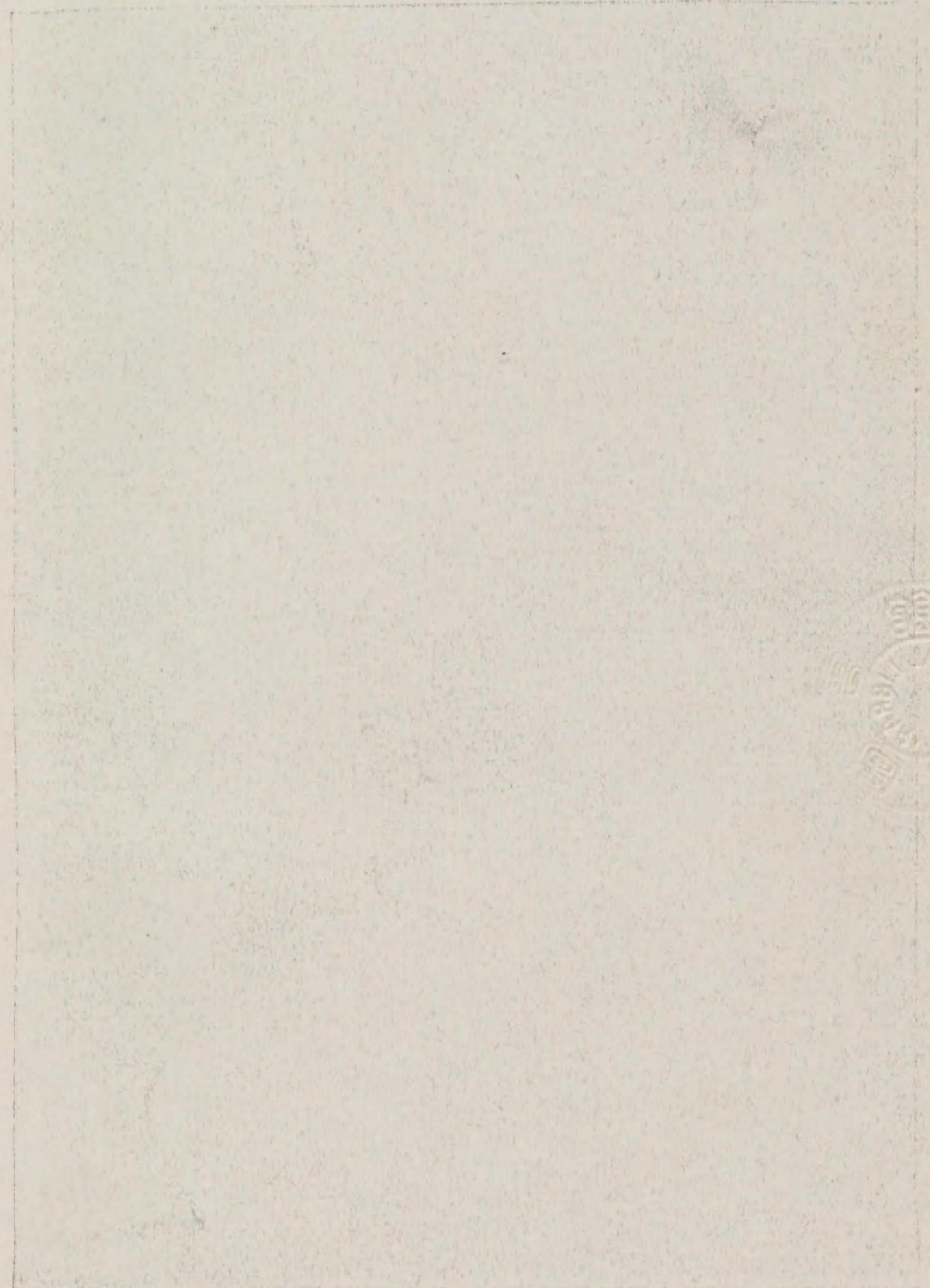
圖
童
三
中
園





綾ソソツエビエカ

圖樂遊女士



歐洲綴織概説

石井柏亭

今度松方幸次郎氏の蒐集にかゝる歐洲綴織の展観をなすに際して、一言其性質を説明して置くことの必要を感じる。歐洲の綴織を呼ぶに日本では通例「ゴブラン織」の稱を以てして居る。併し佛蘭西ゴブラン工場の所産は歐洲綴織の一部をなすに過ぎないから、これを以て其全班の稱呼とすることは穩當でない。

これは英語の「Tapestry Hanging」、佛語の Tapisserie を指すので、それは扨を用ひるのでなしにたいてい經に色の緯いとを巻き附ける方法によつて或圖案を織り出したものである。經は縦に立てられて居る場合と水平に置かれて居る場合とある。例へばゴブランの方法は前者であり、ポーヴェーの方法は後者である。従つて前者は壁掛のやうな大作に適し、後者は椅子ソファ等を張る可き小型のものに適して居る。

綴織の工藝は遠く埃及希臘の古へに端を發して居るが、中世から復興期へかけて發達し、國々によつて盛衰はあるにしても其技は尙今日に續いて居る。

南歐諸地にフレスコ壁畫が行はれると同じ程度に於て北歐諸國には綴織の壁掛による裝飾法が行はれた。其れは壁畫にヒントを得ると同時に當時の寫本の挿畫から影響されても居た。さうしてはじめは中の狭い横長の壁掛が行はれ、段々廣い壁面を掩ふに足る程の大きなものが出来る様になつて行つた。

綴織壁掛の圖案の主題は時の嗜好につれて勿論變替した。其處には宗教的なものも、浪漫的、物語的なものも、歴史的のものも、又田園的、社會的生活を題材としたものもある。それから又人物を抜きにして一面に樹草の文様をつけたものや、唐草に紋章を配したものなどが復興期頃のブリュクセルで作られて居る。

壁掛圖案の構圖の取扱ひ方が各時代の畫家の様式を反映して居ることは云ふ迄もない。従つて十一世紀から十五世紀末へかけての作例は原始畫家の稚拙さと様式化とを反映して居り、壁畫と寫本の挿畫とに於ける約束を踏襲した。染色のことが發達しなかつたから自ら色の種類も制限されて居た。併し其狭い制限のなかで働いたことが此時代の綴織を美しくして居る所以でもある。ゴシック壁掛の人物や植物を浮出させる背景の紺色はたまらなく美しいものである。十九世紀になつて英國ウキリアム・モリスとバーンジョーンズなどゝの協力によつて之等綴織の古趣味が復興されたことは尙人の記憶に新たなる所である。

ラファエル以後壁掛綴織の様式は一變したと見ることが出来る。彼れが法王レオ十世の命を受けてシステイン禮拜堂の爲めに下圖を描いた使徒所行傳壁掛の一组は此意味に於て劃期的のものであつた。染料の豊富とより寫實的な圖案と伴ふこと、がこれ以後の壁掛に行はれて、近代ゴブランの所産に續いて居る。併しながら綴織が其自身の特性を没却して繪畫の複製に墮することは結局贅す可きことではない。

壁掛の輪廓の形式に就ても時代に從つての變遷を云ふことは出来る。ゴシックのものは其はじめ縁が細く單純であり、それが次第に中廣になつて唐草模様を以て豊富に埋められる様になり、つひには芝居の舞臺の前面を劃るカーテンのやうなもので周圍を飾る(十八世紀)様にさへなつた。

壁掛綴織の主要な産地としては十四、五世紀に於けるアラス、十五、六世紀に於けるブリュクセル、十六世紀末から十七世紀へかけてのミッデルブルフ及デルフト、十六、七世紀から現代に至る巴里を擧げることが出来る。而して之等の諸地から出た工人達が、あまり長續きのしなかつた他の諸地に其技を傳へたのであつた。アラスの織場は一時盛んなもので其製品を外國へも輸出したが、それは十五世紀以後衰頽して、ブリュージュ、ガン、ツルナイ、リール、ウーデナルド、ブリュクセル諸地の製品に其地位を奪はれ、特にブリ

ユクセルは最も大をなすに至つた。

伊太利亞に在つてはタスカニー公コスモ一世創むる處の「アルラツエリア・メヂチ」は十八世紀の初頭迄繼續した。西班牙に於てはフィリップ二世がマドリツドに於てフランドル綴織を奨勵したと云はれて居る。

マドリツドに於けるサンタ・バルバラの織場は一七二〇年フィリップ五世の創める處で、これは一旦閉鎖され其後再び開かれた。ゴヤの下圖による壁掛もたしか此處の所産であつた。

佛蘭西ではフランソア一世がフォンテーヌブローに綴織の王立工場を創め、其後アンリー二世、アンリー四世が、又他に工場を興したりしたが、ルイ十四世の時になつて（一六六七年）コルベールの支配の下にゴブラン工場の基礎が定められ、畫家ルブランが其監督に任ぜられ、これが世界的に名高いものとなつた譯である。

一 アタランタ競走ノ圖

フランドル織。十七世紀中葉。縦三米突二〇、横七米突三〇。

二 アレキサンダー大王事蹟圖

ゴブラン織。一六七〇年頃の作。縦二米突七〇、横六米突一五。

三 園中婦女圖

ブリュクセル織、十七世紀後半の作。縦三米突一〇、横三米突四〇。前獨逸皇帝ウキリアム二世珍藏。

四 園中人物圖

リール織。十八世紀初頭の作。ミニヤール下圖。縦三米突一〇、横四米突。

五 村祭圖

ブリュクセル織。テニエール下圖。十七世紀末の作。縦三米突、横六米突。

六園中三童圖

ゴブラン織。縦三米突一五。横、四米突五〇。

七士女遊樂圖

オービュツソン織。ワットー下圖、十八世紀初頭の作。縦三米突一五。横四米突五〇。

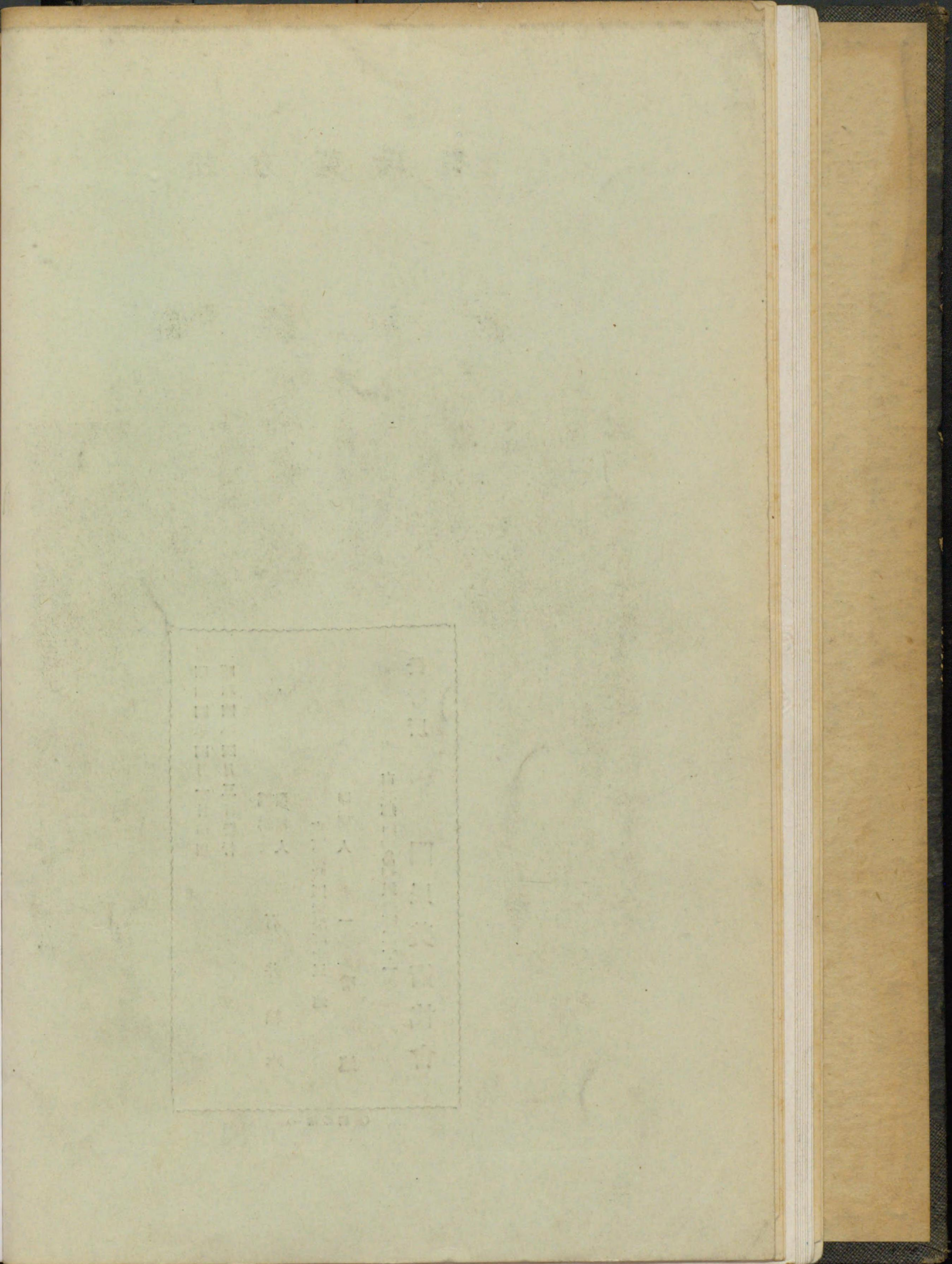
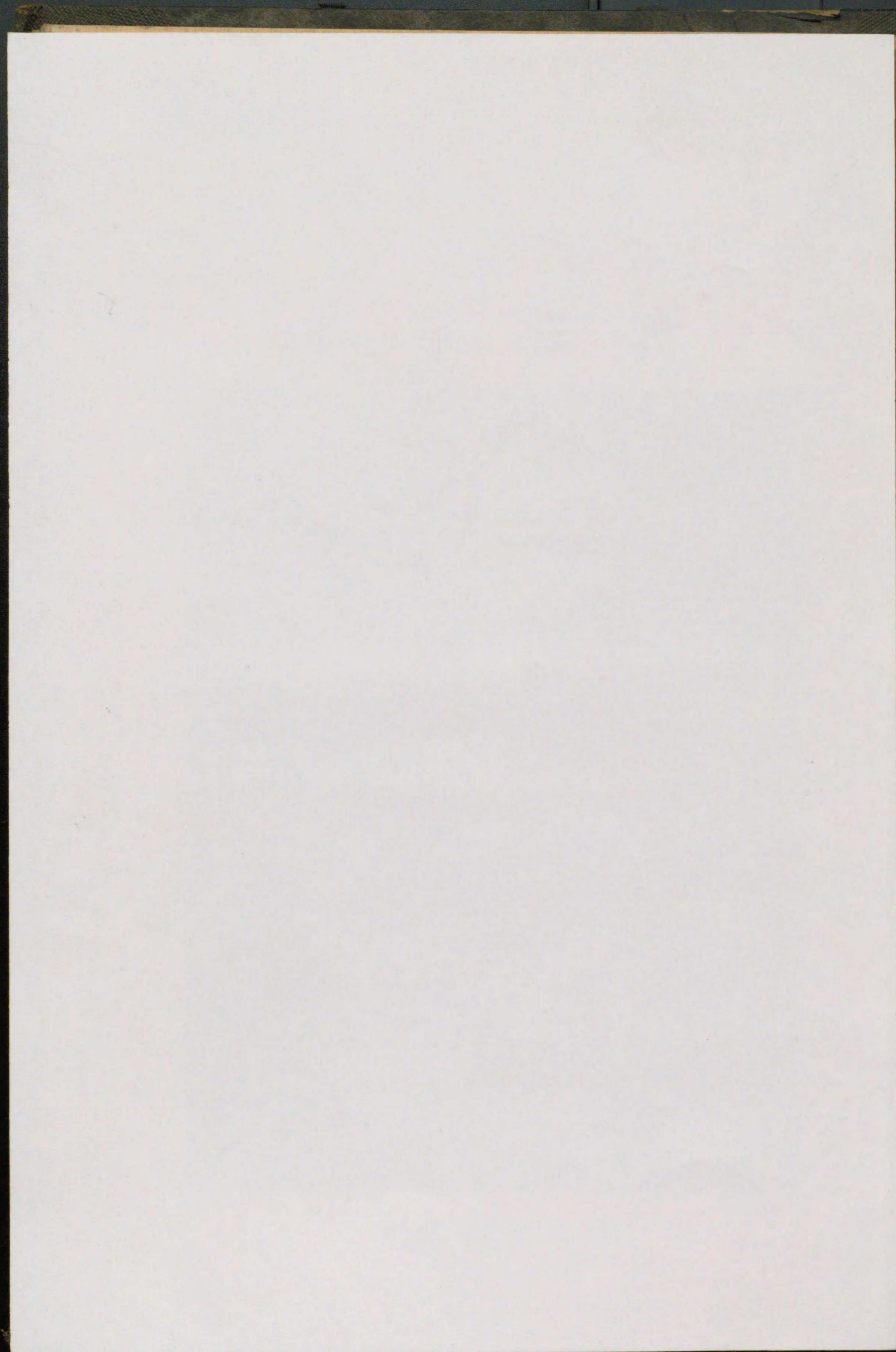
昭和四年四月一日印刷
昭和四年四月三日發行

編輯兼 石井 柏亭
發行人

東京市芝區兼房町十五番地
印刷人 一 嚙 連

東京市本郷區湯島切通坂町五十一番地

發行所 國民美術協會



Faint rectangular stamp impression containing several lines of illegible text, possibly a library or archival mark.